

競技職種実施要領

理容

Ver. 1_2025年 6月19日



本競技職種実施要領は、以下の内容で構成される。

1	はじめに	3
1.1	競技職種の名称	3
1.2	競技職種に関連する職務または職業の説明	3
2	技能五輪全国大会職業標準	4
2.1	技能五輪全国大会職業標準（項目及び配点率）	4
2.2	技能五輪全国大会職業標準（項目とその内容および相対重要性配点率(%)）	5
3	採点方法、採点基準とその配点、公表方法	7
3.1	採点対象	7
3.2	採点基準	7
3.3	競技課題のウェートのかけ方	12
3.4	採点方法	12
3.5	公表方法	13
4	競技課題の概要	13
4.1	競技課題の構成	13
4.2	競技課題作成上の要求事項	13
4.3	競技課題の公表	13
4.4	競技課題の変更	14
5	職種限定規則	14
5.1	禁止事項	14
5.2	選手の留意事項	14
5.3	その他の事項	14
6	実施要領	15
6.1	禁止事項	15
6.2	選手の留意事項	15
6.3	その他の事項	16
7	競技スケジュール	17
8	支給材料	18
9	提供品	18
10	選手持参工具・材料	19
11	競技会場設備基準	22

1 はじめに

1.1 競技職種の名称

理容

1.2 競技職種に関連する職務または職業の説明

理容は、カットやカラー、パーマ、シェービングなどを通して、お客様を「美しく」「健康」にする仕事。お客様の好みや文化、時代性など、様々な要素をもとに、ハサミとクシでヘアスタイルを創り出していきます。また、理容室で行うシェービングは、エステティックにもつながるもので、最近では、ブライダル関係の仕事も増えています。髪を切る、ヒゲを剃るというだけではなく、お客様と近く接し、喜びや悲しみを共有できることも大きな魅力です。

2 技能五輪全国大会職業標準

2.1 技能五輪全国大会職業標準（項目及び配点率）

項目（競技課題 1、3）		配点率 (%)	ウェイト
1	カット・セット	10	2
2	カラー	10	2
3	トータルバランス	10	4
4	作業態度	10	2

項目（競技課題 2）		配点率 (%)	ウェイト
1	カット・セット	10	2
2	パーマ	10	2
3	トータルバランス	10	4
4	作業態度	10	2

項目（競技課題 4）		配点率 (%)	ウェイト
1	カット	10	2
2	カラー	10	2
3	トータルバランス	10	4
4	作業態度	10	2

2.2 技能五輪全国大会職業標準（項目とその内容および相対重要性配点率(%)）

項目とその内容（競技課題 1, 3）		相対重要性 配点率(%)	ウェート
1	カット・セット	10	2
	カットとセットがコンセプトシートと合致している		
2	カラー	10	2
	カラーリングがコンセプトシートと合致している		
3	トータルバランス	10	4
	トータルバランス		
4	作業態度	10	2
	競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであること		
	合計	100	

項目とその内容（競技課題 2）		相対重要性 配点率(%)	ウェート
1	カット・セット	10	2
	写真と同様のデザインがテイストに合わせてニュアンスチェンジできているか		
2	パーマ	10	2
	テイストに合わせた流れや動きが表現させているか		
3	トータルバランス	10	4
	トータルバランス		
4	作業態度	10	2
	競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであること		
	合計	100	

項目とその内容（競技課題４）		相対重要性 配点率(%)	ウェイト
1	カット	10	2
	要望に合わせた全体的印象		
2	カラー	10	2
	要望に合わせたホイルデザインとカラーデザイン		
3	トータルバランス	10	4
	トータルバランス		
4	作業態度	10	2
	競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであること		
	合計	100	

3 採点方法、採点基準とその配点、公表方法

3.1 採点対象

項目（競技課題 1、3）	
1	カット・セット
2	カラー
3	トータルバランス
4	作業態度

項目（競技課題 2）	
1	カット・セット
2	パーマ
3	トータルバランス
4	作業態度

項目（競技課題 4）	
1	カット
2	カラー
3	トータルバランス
4	作業態度

3.2 採点基準

競技課題1 ファッションヘアカット&カラー

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット・セット	カットとセットがコンセプトシートと合致している	10	2
カラー	カラーリングがコンセプトシートと合致している	10	2
トータルバランス	トータルバランス	10	4
作業態度	競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであること	10	2

客観審査

審査項目	減点
すべての毛髪に着色できていない 1割できていない＝△1点 2割＝△2点 3割以上＝△3点	△1～3点
ウィービングやスライシングなどのテクニックを用いていない	△3点
カラーが皮膚（頭皮以外）に付着している 1箇所＝△1点 2箇所＝△2点 3箇所以上＝△3点	△1～3点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△1点 耳や襟に付着している＝△1点	△1～2点
薬剤に無駄がある 多量＝△2点 少量＝△1点	△1～2点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△1点
マネキンが人間と同様に扱われていない	△3点
上記以外の禁止事項、選手の留意事項、その他の事項に反している	△5点

不安全行動に対する減点

減点項目	減点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点
薬液使用時および水洗時にグローブを装着せずに競技を行った	△1点

審査基準

1. カットとセットがコンセプトシートと合致しているかを見る。
2. カラーリングがコンセプトシートと合致しているかを見る。
3. トータルバランスが良いかを見る。
4. 時代性を取り入れたファッショナブルなスタイルであるかを見る。
5. すべての毛髪に着色しているかを見る。
6. ウィービング、スライシング、グラデーションなどのカラーリングテクニックを用いているかを見る。
7. 競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであるかを見る。
8. 薬剤に無駄がないかを見る。
9. マネキンが人間と同様に扱われているかを見る。
10. 禁止事項、選手の留意事項、その他の事項に反しているかを見る。

競技課題2 写真とテイストに合わせたパーマスタイル

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェイト
カット・セット	写真と同様のデザインがテイストに合わせてニュアンスチェンジできているか	10	2
パーマ	テイストに合わせた流れや動きが表現されているか	10	2
トータルバランス	トータルバランス	10	4
作業態度	競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであること	10	2

客観審査

審査項目	減点
ロッドの跡がついている パーマ部分の1/3についている＝△1点 パーマ部分の2/3についている＝△2点 パーマ部分のすべてについている＝△3点	△1～3点
輪ゴムの跡がついている パーマ部分の1/3についている＝△1点 パーマ部分の2/3についている＝△2点 パーマ部分のすべてについている＝△3点	△1～3点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△1点 耳や襟に付着している＝△1点	△1～2点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△1点
マネキンが人間と同様に扱われていない	△3点
上記以外の禁止事項、選手の留意事項、その他の事項に反している	△5点

不安全行動に対する減点

減点項目	減点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点
薬液使用時および水洗時にグローブを装着せずに競技を行った	△1点

審査基準

1. 写真に対し、よく表現されているかを見る。
2. テイストをよく理解し、ニュアンスチェンジできているかを見る。
3. 正面からの写真に合わせたファッショナブルでバランスの良いカット、スタイリングがなされているかを見る。
4. フィンガーセットによる美しいウェーブ・カール表現が出来ているかを見る。
5. トータルバランスが良いかを見る。
6. 競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであるかを見る。
7. マネキンが人間と同様に扱われているかを見る。
8. 禁止事項、選手の留意事項、その他の事項に反しているかを見る。

競技課題3 クラシカルバックバリエーションヘア

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェイト
カット・セット	カットとセットの全体的印象	10	2
カラー	カラーリングの全体的印象	10	2
トータルバランス	トータルバランス	10	4
作業態度	競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであること	10	2

客観審査

審査項目	減点
カラーが皮膚（頭皮以外）に付着している 1箇所＝△1点 2箇所＝△2点 3箇所以上＝△3点	△1～3点
ネックラインにシャープさが無い ネックラインがゆがんでいる＝△1点 ネックラインがついていない＝△2点	△1～2点
後頭下部に色彩がない	△1点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△1点 耳や襟に付着している＝△1点	△1～2点
薬剤に無駄がある 多量＝△2点 少量＝△1点	△1～2点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△1点
マネキンが人間と同様に扱われていない	△3点
上記以外の禁止事項、選手の留意事項、その他の事項に反している	△5点

不安全行動に対する減点

減点項目	減点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点
薬液使用時および水洗時にグローブを装着せずに競技を行った	△1点

審査基準

1. 襟足とサイドに伝統的なテーパーをつけ、毛量を段階的に減らしているかを見る。
2. クラシカルカットがされているかを見る。
3. トータルバランスが良いかを見る。
4. 自毛以外の3色以上のカラーがあるかを見る。
5. 競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであるかを見る。
6. 薬剤に無駄がないかを見る。
7. マネキンが人間と同様に扱われているかを見る。
8. 禁止事項、選手の留意事項、その他の事項に反しているかを見る。

競技課題4 スタイルチェンジフェードカット&ホイルワーク（顧客の要望）

主観審査

審査項目	審査細目	配点	ウェート
カット	要望に合わせたカットの全体的印象	10	2
カラー	要望に合わせたホイルデザインとカラーデザイン	10	2
トータルバランス	トータルバランス	10	4
作業態度	競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであること	10	2

客観審査

審査項目	減点
ホイルの枚数が規定の枚数に達していない	△1～3点
ホイルワーク以外のカラーデザインが施されていない	△1点
刈り上げ部分にロッドの跡がついている 刈り上げ部分の1/3についている＝△1点 刈り上げ部分の2/3についている＝△2点 刈り上げ部分のすべてについている＝△3点	△1～3点
刈り毛が付着している 顔に付着している＝△1点 耳や襟に付着している＝△1点	△1～2点
薬剤に無駄がある 多量＝△2点 少量＝△1点	△1～2点
競技終了時に作業エリアの清掃が終了していない	△1点
マネキンが人間と同様に扱われていない	△3点
上記以外の禁止事項、選手の留意事項、その他の事項に反している	△5点

不安全行動に対する減点

減点項目	減点
ケガへの対策（絆創膏の用意程度）が出来ていない	△1点
薬液使用時および水洗時にグローブを装着せずに競技を行った	△1点

審査基準

1. ホイルの数が指定された枚数以上であることを見る。
2. ホイルワーク以外のカラーデザインが施されているかを見る。
3. 刈り上げ部分にロッドの跡がついていないかを見る。
4. 要望に合わせたカットスタイルであるかを見る。
5. 要望に合わせたセットであるかを見る。
6. トータルバランスが良いかを見る。
7. 競技時間中の整理整頓および作業所作がきれいであるかを見る。
8. 薬剤に無駄がないかを見る。
9. マネキンが人間と同様に扱われているかを見る。
10. 禁止事項、選手の留意事項、その他の事項に反しているかを見る。

3.3 競技課題のウェートのかけ方

競 技 課 題	ウェイトバランス
競技課題1 ファッションヘアカット&カラー	0.3
競技課題2 写真とテイストに合わせたパーマスタイル	0.2
競技課題3 クラシカルバックバリエーションヘア	0.3
競技課題4 スタイルチェンジ フェードカット&ホイルワーク（顧客の要望）	0.2

3.4 採点方法

(1)主観審査の方法

採点は下記のとおり審査項目ごとに10点満点制とし、所定の審査表により行う。

（参考）

1	Perfect	完璧	5	Weak	やや劣る
9	Excellent	すばらしい	4	Bad	悪い
8	Very good	非常に良い	3	Insufficien	不十分
7	Good	良い	2	Very bad	非常に劣る
6	Medium	まあまあ普通	1		

- ・ 最高点の10点は審査項目ごとに必ず1つつけ、9点以下は同点があってもよい。
- ・ 得点数が同点の場合は、競技委員主査の採点表の得点数でその順位を決定する。
- ・ 競技委員主査の採点表で同点の場合は、主査の採点表で優先する競技課題の得点差で決定する。

優先順位は次のとおり

第一優先：競技課題3 クラシカルバック バリエーションヘア

第二優先：競技課題1 ファッションヘアカット&カラー

第三優先：競技課題2 写真とテイストに合わせたパーマスタイル

第四優先：競技課題4 スタイルチェンジ フェードカット&ホイルワーク（顧客の要望）

(2)客観審査の方法

客観審査は減点方式で行う。

減点数は各競技委員の判断ではなく、全競技委員の確認のもとに決定し、各課題の主観審査の総合得点（40点満点）から減点される。

(3)作業時間採点の方法

各競技課題に定められた作業時間を超えた場合、採点を行わない。

(4)作業態度採点の方法

競技時間中の作業の手際の良さ(仕事の効率や整理整頓、清掃等)で、競技審査員の合議で加点し、また危険行為や、他の選手への妨害などあった場合も競技審査員の合議で減点する。

3.5 公表方法

主催者が指定する方法において、参加選手本人による照会の場合のみ、原則として競技結果（順位、得点）を伝達する。

4 競技課題の概要

4.1 競技課題の構成

競技課題 1	ファッションヘアカット&カラー	1 4 0 分
競技課題 2	写真とテイストに合わせたパーマスタイル	<u>1 2 5 分</u>
競技課題 3	クラシカルバック バリエーションヘア	1 2 0 分
競技課題 4	スタイルチェンジ フェードカット&ホイルワーク（顧客の要望）	8 0 分

4.2 競技課題作成上の要求事項

1. 競技の内容

選手は競技課題に沿ったスタイルを3体のマネキンで4種目すべて作成すること。

2. モデル

モデルは会場で配布の指定マネキンで、第2、4競技課題は同一のマネキン、第1、3競技課題は各1体別のマネキンを使用する。

マネキンは会場で配布し、選手持参のマネキンは使用できない。

各課題とも衣装、装飾品は装着できない。

3. 競技会場設備

選手一人あたりの作業面積は4㎡とする。

電源のコンセントは選手一人につき1200ワットまでとする（二カ口）。

※電気器具の同時使用は不可

作業用テーブルと折りたたみ椅子を設置する。

4.3 競技課題の公表

事前公表の競技課題は、原則として技能五輪大会開催の3か月前に主催者ウェブサイトで公表します。

4.4 競技課題の変更

事前公表競技課題に変更がある場合は、主催者ウェブサイトで公表します。

5 職種限定規則

5.1 禁止事項

- ① シザーズケースを使用すること。
- ② マネキンは人間と同様に扱われていない。
 - ・ マネキンを下に叩きつけるような行為等。
 - ・ マネキンにメイクや印をつけること。
 - ・ 国の基準に合わない薬剤、指定以外の薬剤を使用すること。
 - ・ テープやラップ等によってマスキングすること（保護クリーム等は使用可）。
 - ・ ドライヤーボンネット等で顔全体を覆わないこと。ラップ、ホイルも顔にかからないようにすること。
 - ・ 顔や首にパーマ剤が流れること（パーマの施術時には必ずターバンを使用すること）。
 - ・ シャンプー以外の施術をクランプに装着しないで行うこと
- ③ カラーカップとして紙皿を使用すること。

5.2 選手の留意事項

- ① 薬剤を使用する作業および水洗時は手袋を着用すること。手洗い・消毒をこまめに行うこと。
- ② 作業中はカットクロス、カラークロス、パーマクロスを着用し、作業終了時に外すこと。ただし、シャンプー時は外してもよい。クロスは加工しないこと、またシャンプークロスは使用禁止。
- ③ 薬剤の無駄がないようにすること。
- ④ その他、競技委員の指示に従い行動すること。

5.3 その他の事項

- ① マネキンの首のキャップ前側にゼッケン番号のシールを必ず貼ること。

6 実施要領

6.1 禁止事項

- ① 指定以外のマネキンを使用すること。
- ② 競技時間中に用具、薬剤の貸し借りをすること。
- ③ 指定以外の電気器具を使用すること。
- ④ 電気器具を同時使用すること。
- ⑤ 競技に使用する器具、薬剤等を作業テーブル以外に置くこと。ただし、清掃用具については作業エリアの床に、搬出用の箱等については指定の工具置場におくことができる。
- ⑥ 作業エリアに、競技に必要な道具、薬剤以外を持ち込むこと（当該競技に使用しない道具類は、指定の場所に収納すること）。
- ⑦ 作業エリア以外で作業を行うこと。
- ⑧ 競技時間中に作業エリア外から器具、薬剤等を作業エリアに持ち込むこと。ただし、搬出用の道具箱類は指定の工具置場から持ち込むことができる。持ち込んだ道具箱類の中に当該課題に使用しない道具、薬剤等が入っていてもかまわないが、それらを箱から出すことはできない。また、持ち込んだ道具箱類は作業テーブルの上で管理する必要がある。
- ⑨ 競技時間終了時に作業エリアの清掃が終了していないこと（片付けた器具、薬剤類は、競技時間中に箱等にまとめ、競技終了後、速やかに搬出すること）。
- ⑩ 審査を受ける際、作業エリアに不要なものがあること（エリア内は作業テーブル、クランプの付いたマネキンのみ。ゴミ袋等含めて審査前に処分すること。養生シート類はその限りではない）。
- ⑪ 競技中に競技エリアから出ること（トイレに行く場合は競技・運営委員または補佐員に必ず申し出ること。またこれに要する時間は作業時間内とする）。
- ⑫ 競技時間以外に競技を行うこと（薬剤の準備等含め、すべて競技時間内に行うこと）。
- ⑬ 競技時間以外にマネキンに触れること。
- ⑭ 携帯電話等、外部との連絡を取るためのツールを競技時間中に使用すること（外部との連絡以外の用途でも使用できない）。
- ⑮ 競技時間中に選手同士および外部と会話すること。

6.2 選手の留意事項

- ① 1. 作業エリアに限らず、競技エリアの清掃および整理整頓を競技中は常に心掛け各自が責任を持って行うこと（髪などのゴミは所定の場所に片づけること）。
- ② 2. 清潔で作業のしやすい、理容師らしい作業衣を着用すること。
- ③ 3. 競技課題は提示された通り、正確かつ丁寧に美しい作品を作業時間内で完成させるこ

と。

- ④ 作業は競技課題に従い確実に行うこと。
- ⑤ 質問等は挙手で合図し、競技委員の指示に従うこと。
- ⑥ その他、競技委員の指示に従い行動すること。

6.3 その他の事項

- ① 国際大会の課題公表後における「当日の一部変更」「不測のアクシデントの状況下でも柔軟に対応ができる」ようになるために当日の競技要項の変更をする場合がある（時間の短縮や指定本数、指定枚数の変更など）。
- ② 2. 支給のマネキンはすべて検品してあるので交換はできない。ただし、何か重大な問題が生じている場合のクレームは申し出ることができる。
- ③ 作業テーブル番号は選手受付時に抽選で決定する。
- ④ 電源、シャワー等のトラブルは近くの競技委員または補佐員に申し出ること。
- ⑤ 競技時間は理容職種競技会場内の時計で表示する。※競技終了時間はホワイトボードに表示
- ⑥ 終了前の時間の告知は運営委員によって行われる。
- ⑦ 絆創膏の準備等、各自ケガへの対策を講じること。

8 支給材料

区 分	品 名	数 量	備 考
マネキン	No.212F（L） （課題２・４で使用）	1	(株)三矢
	No.212F（L） プラチナブロンド （課題１で使用）	1	(株)三矢
	No.503 （課題３で使用）	1	(株)三矢
カラーリング用２剤	ルベルエドルオキシ 1000ml 6％	1	タカラベルモント(株)
	ルベルエドルオキシ 1000ml 2％	1	タカラベルモント(株)

9 提供品

区 分	品 名	備 考
シャンプー	ユニフィット リセットシャンプー	クラシエホームプロダクツ販売(株)
コンディショナー	ユニフィット リペアコンディショナー	クラシエホームプロダクツ販売(株)
ブリーチ剤	ルベル エドルブリーチ	タカラベルモント(株)

10 選手持参工具・材料

品 名	個 数
クランプ（高さ調整可能なもの） ※スタンドクランプを持ち込み、使用しても構いません。ただし、審査時には競技テーブルにクランプを固定し、それに装着すること。	1～2個
ハンドドライヤー1200W 以内 ※故障時に備え、必ず2台以上持参すること。	2台以上
延長コード（2m位）	1本
はさみ	必要本数
ヘアアイロン（カール用等）	必要個数
クリッパー	必要個数
トリマー	必要個数
シェーバー	必要個数
レザー（替え刃可）	必要本数
カット用コーム	必要本数
ヘアクリップ	必要本数
カラー用ホイル	必要枚数
カラーリング用カップ（再利用可能なもの）	必要個数
カラーリング用ブラシ	必要本数
グローブ	必要数
ロッド（各種） ※競技課題2写真とテイストに合わせたパーマスタイルの課題写真は8～12mmのロッド35本以内を使用した作品です。	必要本数
ペーパー	必要枚数
フリーピン	必要本数
輪ゴム	必要本数
トリガー（霧吹き）	1～2個
タオル	必要枚数
黒タオル	必要枚数
パーマ液用スポイド	1～2個
ジャンボコーム	1～2本
ワインディング用コーム	1～2本

品 名	個 数
セット用ブラシ各種	必要本数
ラップ（アルミホイル等）	必要本数
ドライヤーボンネット	1 個
ヘアキャップ	必要数
競技課題 1 のコンセプトシートを記入するのに必要な筆記用具など	必要数
マスク	必要数
器具消毒用アルコール	必要量
器具皿	2 枚
毛払いブラシ	必要数
計量器（カラー剤用）	1 台
<u>クロス（カット用、カラー用、パーマ用）</u>	<u>競技課題 1 つ</u> <u>につき各 1 枚</u>
ティッシュ、コットン等	適量
スタイリング剤	必要量
シャンプー、リンス	必要量
トリートメント	必要量
リムーバー	適量
絆創膏	適量
ガムテープ	1 本
筆記用具	一式
ターバン	必要本数
ゴミ袋（大）	必要枚数
搬出用道具箱類	必要数
洗面器 ※シンクで洗ったウィッグを移動する際、水が床に垂れるのを防ぐために使用。	1 個
ほうき、ちりとり	一式
ビニールシート ※競技スペース（4 m）養生用。	1 枚

※その他必要となるものは、選手が各自持参すること

競技課題の薬液（選定は各自自由）

品 名	個 数
パーマ液	必要量
ウェーブコントロール剤	必要量
カラーリング剤	必要量
ブリーチ剤（１剤）	必要量
前・後処理剤	必要量

11 競技会場設備基準

設備の名称		寸法又は規格	数量	備 考
区分	品 名			
競技場	シャンプー台	シャワーノズル付	13 台	
	ビニールシート	全面		※会場によりシート養生しない場合あり
	電源	合計 1200W	2 カ口/選手	各作業台下部に設置
	折りたたみ椅子	背もたれ付	必要数	用途： 選手席用、委員席用など
	長机（競技用）	180cm×45cm×75cm ※クランプ取り付けのため、机手前部分に均一の厚さの奥行きが約 15～20cm あるもの。厚さは 5 cm 程度。	1 台/選手	※会場により机のサイズは前後
	長机（作品展示用）	180cm×45cm×75cm ※白布を掛けて使用	必要数	※会場により机のサイズは前後
	長机	180cm×45cm×75cm	必要数	用途： 選手席、委員席用、備品置場用など ※会場により机のサイズは前後
	照明器具	全面		—
	時計		2 台	後方選手が確認できる大型のもの
	ホワイトボード	180×90cm ※規格物	4 台	終了時間等を周知させるため